

株式会社ハマダ

今までも、これからも「誠実と努力」を旨とし
お客様に「安心と満足」をお届けします。

株式会社ハマダは石油化学プラントを主体に化学機械装置の設計・製作をはじめ、機器据付工事、配管工事からプラント保全工事までのトータルケア事業、土木・建築・不動産等のインフラ整備事業、また生産請負・出荷・倉庫・運送の物流事業をトータルに行う多角化企業です。高い技術力と自社内での一気通貫体制の総合力でお客様のニーズに幅広くお応えしております。

商号	株式会社ハマダ
本社	〒671-1234 姫路市網干区新在家1261-12
創業年	1906年(明治39年)12月
設立年	1952年(昭和27年)9月
資本金	5,502万円
従業員数	298名
事業内容	プラント・エンジニアリングを主軸とし、石油化学・鉄鋼・電力・セメントなど各種産業プラントをトータルケアする事業や土木建築業等。



創業者 榎田藤治

「故郷の町の名を冠した社名に、百年の原点あり」

揖保川河口の三角州に開けた網干は、かつて内陸の龍野や山崎から全国各地への物資の積み出しで栄えた港町。古くから高瀬舟が出入り、播磨有数の港町としてにぎわいがありました。川の中洲にあたる濱田村に生まれた創業者 榎田藤治もまた高瀬舟に乗り込んで往来する船頭(かこ)から身を立てた一人でした。日本初の本格的セルロイド工場である「日本人造絹糸株式会社(現:株式会社ダイセル)網干工場」の建設工事にともない村の同志を集めて「濱田組」を起こしたのは明治39年(1906年)、榎田藤治29歳のことです。当時社名は創業者の姓名から取ることも多いなか、故郷の町の名を冠したのは「先々まで地元貢献したい」という思いがこめられています。



揖保川川の木材運搬

「2度の大戦を乗り越え、業容も大きく変貌」

創業後、当社はセルデン丸と名付けた輸送船をはじめ8隻の船舶を所有。水上運搬を中心に数多くの仕事を手掛け、様々な新分野の事業進出への足掛かりを築いてまいりました。

その後2度の大戦を経て、物資徴用でほとんどの船舶を失ってしまったということもあり、事業内容も水上運搬から陸上輸送へと大きく転換を図りました。戦後復興という時代の流れとともに積極的な経営を展開、日本各地の現場へ東奔西走しながら社業は広く大きく発展いたしました。

1960年代 各地で巨大な工業地帯の建設が相次ぐなか、本格的にプラント事業に進出。

社名も濱田組から株式会社浜田組、そして現在の株式会社ハマダへと変遷を遂げ、戦後から築き上げた重量物運搬、プラント建設工事に加え、土木建築工事や倉庫業といった分野へも進出いたしました。

「お客様のご要望に応える」という経営姿勢

現在の多岐にわたる仕事は、創業以来貫いてきた「常に志を高く持ち、正義のもと、誠実と努力を基本理念」として取り組んできた賜物であり、ここに至るまで長年ご愛顧を賜っておりますお客様、ならびに当社の存続に多大なるご協力を賜っております協力会社の皆様方、そして諸先輩方のご尽力の賜物であると深く感謝をしております。

現在は約300名の優秀な人材と技術力、設備、営業力、さらに金融機関からの信用を武器により一層の発展を目指しています。

また現在グループ企業として、アメリカ合衆国における有力プラント設計会社のライセンスを持つ「株式会社ナガオカ」(東証スタンダード上場)、独創的な水処理技術で未来を科学する「株式会社アステック」、仮設資材の販売・レンタル業を行う「株式会社HINO」、関東エリアのプラント事業を行う「株式会社三信工業」があり、グループ間の連携のもとよりグローバルな事業展開を視野に取り組んでいます。



重量物運搬の精鋭部隊



巨大な給水塔の据付工事



化工機新工場

Since 1906